



社会福祉法人 吉備路の会

吉備路学園

第51号

平成31年4月30日 発行



発行

社会福祉法人 吉備路の会
吉備路学園

〒719-1155
岡山県総社市小寺1553番1
TEL(0866)92-6580
http://kibijigakuen.ecgo.jp



「布施のじいちゃん」

理事長 小原 章弘

お布施といえば「お坊さんへのお礼」と思われているようですが、それだけではありません。誰もが実践しなければならぬ大切な六つの徳目、その第一が布施です。

布施を言い換えれば「助け合い」です。人間に限らずこの世のすべての生きものは、お互いに恵みを受け、かわり合い、助け合って生きています。そうでなければどんな生きものもこの世に存在し得ません。ですから私たちは、他からの恵みやかわり合いの恩恵に感謝し、その恩恵を他にめぐらしていかなければなりません。私たちは「助け合い」の布施行を、歓んで実践したいものです。

布施は金銭だけではありません。「笑顔」や「やさしいまなざし」そして「愛護」は大切な布施行です。暖かい言葉は何よりの「助け合い」になります。礼儀正しく、思いやりの心をもって席を譲れば周囲の人に喜ばれるでしょう。お金が無くてまでできる布施がたくさんあります。いっしょでも、じいちゃんも、いっしょでも出来るのが布施です。布施をこちらから先にすれば周囲を豊かにできるでしょう。家庭や社会は明るくなるでしょう、違いありません。

共生社会の実現に向けて「布施のじいちゃん」愛護心を忘れてはならないと思えます。

吉備路学園 自治会活動



◆すずらんグループ外出◆
1月 総社宮にて



◆ボプリグループ外出◆
4月 蒜山にて



◆ローズグループ外出◆
6月 安富牧場にて



◆ひまわりグループ外出◆
9月 砂川公園にて



◆なのはなグループ外出◆
11月 総社北公園にて



◆一泊親子旅行◆
11月大分にて



◆クリスマス会◆
12月 サントピア岡山総社にて



すずらんグループ 一年を振り返って

支援員 高原 まさ美

平成三十年度は利用者十一名で、すずらんグループをスタートしました。日課では午前中に散歩・ボール投げ・足浴支援等を行い運動を中心に個別支援を行いました。午後は軽作業・個別入浴・運動等の活動を行いました。活動中はオルゴールの曲を流しながらゆったりとした空間作りを行い、会話をしながら運動や軽作業等の取り組みを行いました。活動内容は個々で決めてもらいました。プラカード入れ・塗り絵・マッチング等好みそうな作業の提供を行ってきました。個々に好みは違いますが楽しく活動に参加して頂けたと思います。毎日が、楽しくゆったりと過ごして頂けるよう心がけてきました。

今後も利用者が安心・安全に過ごせるよう日々のバイタルチェック・排泄確認・表情などの様子観察をし、随時必要に応じた対応を行っていきたいと思います。

なのはなグループ 一年を振り返って

支援員 延吉 彦志

平成三十年度は、利用者の方十二名でスタートしました。五月に一名の利用者の方が新たに仲間入りし、計十三名になりました。年度中に体調の急変により、救急搬送を要し、

入退院を繰り返した利用者・不慮の事故により入院した利用者の方がおられました。今では学園に戻ってこられ、共に生活をしています。又、高齢の利用者中心のグループである為、いつもとは違う食事摂取量・表情などにより体調不良の兆しがみられた場合には、看護師と連携を図りながら、早期発見できるように努めていく必要があります。

今後も、利用者の方が安心・安全に過ごせ、笑顔の絶えない日々であり、吉備路学園で良かったと思える環境作りを行っていきたいと思います。

ローズグループ 一年を振り返って

支援員 牧野 隆久

ローズグループでは、日課の時間に軍手作業を中心とした生産活動を行いました。個々の利用者さんのニーズに応じて、ヒーズ通し、機能訓練等にも取り組みました。体を動かす時間も作り、毎朝のラジオ体操、エアロバイク、バッチング練習、園外では長縄跳びやボール遊び等を行っています。ゆとりの時間には塗り絵やカラオケ大会を行い、班グループ外出では木下大サーカス、イオンモール倉敷、カラオケ店等を訪れ、楽しい時間を過ごすことができました。

みなさん作業場に行くことを楽しみにされ、毎日元気に頑張っています。

ひまわりグループ 一年を振り返って

支援員 宮西 明恵

ひまわりグループができて四年が過ぎました。外出・買い物等楽しい時間の過ごし方にも慣れ、バイキングなど、自分の好きな物を持ってきて食べる楽しみもできました。作業場についても、トラブルになる事も少なく落ち着いて作業をする事ができました。

とても楽しく充実した一年を過ごすことが出来ました。

ポプリグループの 一年を振り返って

支援員 渡邊 文子

昨年の七月に豪雨災害があり、ポプリグループが真心込めて作った手芸品を置かせていただいている店が80センチ以上の床上浸水になり、手芸品も泥水に流れ泥だらけになりました。泥で汚れた手芸品を店から持ち帰り、一つ一つ丁寧に洗いました。皆で災害の恐ろしさを痛切した二年でした。

ポプリグループは、手芸品を作り委託販売を主に行っていますが、今年度はプランターで野菜やハーブを栽

培しサラダパーティーやお茶会を開催しました。又、共同制作で張り紙や花紙を丸め、大きな立体面を作成し、四季の移り変わりを表現した作品を作りました。

地域社会交流として、豆腐作りやカフェでモーニング体験をしました。グループ外出で雪山(大山)や花見、コスモス畑と自然の美しさを目で奏で、雛祭りや七夕等、四季の行事を楽しみました。

ポプリグループ全員、大きく体調が崩れる事無く、元気に楽しく過ごせた一年でした。

昨年度を 振り返って

管理栄養士 林 裕子

昨年度は、食事形態が普通から刻みに変わった方が多いという印象がありました。食事形態については、その方の食べ方や口の大きさなどに配慮しながら、調整しています。年齢を重ねてもしっかりと食事を召し上がって頂くためには、食事形態の見直しや食事摂取量の把握など、日々、利用者の方の食事の様子を確認することが大切です。学園の利用者の方も年齢が高くなっていますので、より一人一人に合わせた食事を提供できるように考えていきたいと思っております。



新任・退職のおしらせ

《新任職員紹介》

- 平成三十一年五月十一日付
支援員 八代 絵里香
- 支援員 板鼻 宏明
- 平成三十一年五月二十一日付
看護師 林 典子
- 支援員補助 板谷 由美子

《退職職員》

- 平成三十一年三月十日付
支援員 佐藤 雅美
- 支援員 楠見 菜月
- 看護師 森岡 敦子

編集後記

四月になっても東北では雪が降ったりと、まだまだ寒い日が続いていますが、植物達は着実に成長の準備を進め、公園では桜が咲き、庭ではユリソップの芽が伸びてきたりと、色々な場所で花が咲き始めています。そんな植物を見ていると何億年もの間これを繰り返してきて今の地球があるんだなと生命の力強さを感じることも、途方もない時間の経過を感じます。

さて、約三十一年続いた平成も終わりに新しい元号の「令和」の時代になります。吉備路学園でも新たな体制の下で利用者の方の支援に、よりいっそう励んでまいりますのでよろしくお願い致します。

アラフィフの つばやき

管理者 村上 雅昭

先日、レンタルDVD店で古い洋画「キャストアウェイ」を借りた。数十年前に何度か観た映画であり、特に記憶に残っている映画でもなかったが、なぜかずっと来るものがあった。時の流れを感じさせる映画であり、観ていると文明の複雑さを感じると共に、自分も年をとったと感じさせられる映画だった。

そういえば最近あまり映画を見なくなりました。学生の頃はアルバイトして必ず映画館に映画を観に行っていた。しかも、その頃の映画は心に残る映画が多く、ニューシネマパラダイス、羊たちの沈黙など同じ映画を何度も映画館に観に行っていたのを感じる。しかし、最近の映画はあまり観たいと思う映画が少なく、DVDレンタルしてもこのような映画だったか覚えていないことが多い。しかも映画を観た後心に残っている映画が少なくなっている。その点、古い映画はいい。特に80~90年代にかけての映画がお勧めだ。余暇時間の有効活用として映画を見てはどうだろうか。最近古い物、古い者えは敬遠されがちだが、古い物も大切にしていきたいものである。

医務一年を 振り返って

看護師 林 典子

昨年度の一番の出来事は、利用者の方のインフルエンザとノロウイルスの感染者が誰もいなかったことです。平成二十九年度は利用者の方二十一名の感染者がありましたが、昨年度は対策として熱発したら直ぐ病院受診することで抑えることが出来ました。このことでインフルエンザに対する職員の知識と意識が高まったと思われれます。また、三人の方が入院し手術を受けました。また、皮膚疾患では市外受診にて大きな成果があり受診しなくてもよくなった方もおられます。

今年度も経験を生かして個々の病状特性に応じた看護を行っていきたいと思います。

みぞくちの 一年を振り返って

管理者 延原 良純

この二年は、何と言っても七月の西日本豪雨災害の記憶が強い。高梁川を挟んだ向かいの真備地区での大水害は、多くの方々の日常生活を奪ってしまっただ。みぞくちへの直接的な被害は無かったものの、真備方面からの道路は寸断され、通所に支障をきたし、しばらく休まれる方もいらっしゃった。

寄付・寄贈・ ボランティア協力

平成三十年四月二日、
平成三十一年三月三十一日
〈敬称略・順不同〉

《寄付》

- 栗師寺主明 三備石油(株)
- 総社市手をつなぐ育成会 藤井高志
- 総社市総社地区社会福祉協議会
- 総社市阿曾地区社会福祉協議会
- 吉備路学園家族会
- 社会福祉法人吉備路の会後援会

《寄贈》

- 季菜里 松本晃 小西二生 山本準
- 川西正樹 横田一夫 吉田電子
- (有) カネタ加工

《ボランティア》

- ▲アーニョットリラー
- 高杉心菜 在間由佳